

審査結果報告書

2021年 2月 3日

主 査 氏 名 村 雲 芳 樹 

副 査 氏 名 武 田 啓 

副 査 氏 名 高 橋 倫 子 

副 査 氏 名 神 池 和 彦 

1. 申請者氏名 : DM17019 辻沢 辰彦

2. 論文テーマ :

Morphological changes and potential mechanisms of intraocular pressure reduction after micropulse transscleral cyclophotocoagulation in rabbits.
(家兎を用いた経強膜毛様体光凝固術の組織変化と眼圧下降の作用機序の検討)

3. 論文審査結果 :

本研究は、緑内障の治療として 2017 年に認可されたマイクロパルス毛様体光凝固術 (MP-TSCPC) についての以下の 2 つの study より構成されている。

- ①家兎を用いて、MP-TSCPC 治療後の眼圧下降効果と毛様体の病理学的変化を解析し、MP-TSCPC の作用機序を明らかにした。
- ②MP-TSCPC による臨床治療症例を用いた治療成績を解析し、有意な眼圧下降が得られたことを明らかにした。

審査会では以下の点について討論した。

1. 緑内障の動物モデルは樹立されているのか。
2. 治療後の修復過程については検討したのか。
3. 臨床にフィードバックできる点は何か。
4. 出血傾向などの基礎疾患がある患者にとっては有用な治療法か。
5. ヒトの緑内障患者の病理について解析した報告はあるのか。
6. 解析した動物の数が 1 羽なので、確定的なことをいうのは難しい。
7. タイトルを工夫した方がいいのでは。

本研究は新規認可された治療法の病理学的メカニズムの解明を目指したものであり、今後の治療法の改善・開発について有用な知見を与えるものである。よって、博士の学位にふさわしい研究であるとの結論に至った。